

平成20年度 当初予算の概要

予算総額 769億8,006万円 前年度比 6.4%減

一般会計 406億3,000万円 前年度比14.2%増

特別会計 306億 907万円 前年度比24.5%減

特別会計の内訳

特別会計名	当初予算額
国民健康保険	123億6,961万円
老人保健	12億1,973万円
介護保険	89億 807万円
簡易水道事業	2億2,038万円
公共下水道事業	56億 414万円
小規模下水道事業	1億3,119万円
港湾上屋事業	580万円
ひうち地域振興整備事業	1億9,444万円
土地開発事業	787万円
小松地域交流事業	2億6,471万円
本谷温泉事業	2,328万円
住宅新築資金等貸付事業	2,907万円
畑地かん水事業	2,729万円
庄内財産区	132万円
壬生川財産区	421万円
後期高齢者医療保険	15億9,796万円

企業会計 57億4,099万円 前年度比 6.5%減

企業会計の内訳

企業会計名	当初予算額
水道事業会計	23億6,422万円
病院事業会計	33億7,677万円

平成20年度の歳入は、市民税や固定資産税の増収など、多くの税目で伸びが見込まれ、市税収入全体では前年度当初予算を上回る見通しです。しかしながら、地方交付税などの依存財源が減少することから、一般財源総額の伸びは見込めず、新年度における財政環境は、依然として厳しい状況にあります。

このような厳しい環境の中ではありませんが、財源の積極的な確保に努めながら重要かつ緊急度の高い施策の選択と重点的・効率的な配分を行い、市民の皆さまの行政ニーズに的確に対応しつつ、「人がつどい、まちが輝く、快適環境実感都市」の実現に取り組んでいく必要があります。

このため、歳出におきましては、新図書館整備事業や東予運動公園屋内体育施設建設事業などの大型事業の早期完成をめざすとともに、新規産業の創造や産業振興、子育て支援、健康づくり・体育の振興、市民安全・防災対策の推進、病院事業会計に対する財政支援など、緊急かつ懸案の重要施策の推進に取り組む予算編成を行っています。

一般会計の主な事業

▼図書館の整備

- 新図書館整備事業 13億624万円
- 図書館システム構築事業 4,840万円

▼環境保全対策

- （仮称）東部一般廃棄物最終処分場整備事業 18億7,987万円

▼都市基盤の整備

- 東予運動公園整備事業（屋内体育施設整備） 9億564万円
- まちづくり基盤整備事業 6億700万円
- 橋りょう長寿命化事業 1,200万円
- 船屋王至森寺線道路改良事業 3,000万円
- 壬生川地区小型船だまり建設事業 2,459万円

▼産学官連携の促進

- システム農学会開催事業費補助金 30万円
- フィールド大学事業 150万円
- 大学と連携した地域づくり助成事業 1,278万円

▼子育て支援

- 乳幼児医療費助成事業 2億2,091万円
- 放課後児童健全育成事業 1億683万円
- 放課後子ども教室推進事業 605万円
- 21世紀を担う子育て事業 506万円

▼特別支援教育の充実

- 特別支援教育支援員配置事業 3,301万円

▼健康づくり・体育の振興

- 高地運動指導事業 123万円
- 石鎚山系元気ウォーキング大会開催事業 209万円
- 次世代育成支援スポーツ事業 1,032万円

▼市民安全・防災対策の推進

- 携帯電話発信位置情報受信システム整備事業 226万円
- 横断歩道注意喚起事業 396万円
- 地域防災計画策定事業 4,570万円
- 市民総合防災訓練実施事業 130万円
- 浸水対策事業 2,200万円
- 浸水水位表示板設置事業 105万円
- 木製ダム調査研究事業 272万円

▼新規産業の創造・産業と観光の振興

- 企業立地促進奨励金 1億1,900万円
- 「水と食」調査研究事業 500万円
- 地域産業活性化推進事業 1,674万円
- 四国鉄道文化館等管理運営事業 3,300万円

▼雇用の促進

- 合宿都市構想推進事業 126万円
- Oターン推進事業 115万円
- 人材マッチング・合同就職面接会開催事業 31万円
- 求職者対象パソコン研修事業 265万円

▼福祉の充実

- 福祉基金事業 712万円
- 心身障害者扶養共済費 4,530万円
- 障害者小規模作業所運営事業 2,924万円
- 障害児保育事業 4,302万円

▼保健・医療の充実

- 予防事業費（麻しん予防接種） 1,978万円
- 特定不妊治療費助成事業 101万円